

北海道室蘭聾学校

室蘭市水元町56-24

TEL (0143-44-1221)

FAX (0143-44-1208)

学校だより



3月

令和5年度最終号

令和6年
3月22日発行

メール muroranrou-z0@hokkaido-c.ed.jp ホームページ <http://www.muroranrou.hokkaido-c.ed.jp>

今年度もありがとうございました

北海道室蘭聾学校長 二階堂 洋子

本日、卒業証書、修了証を17名の幼児児童生徒に渡しました。お子様の卒業・修了おめでとうございます。どの子どもも様々な経験と学びを通して、大きく成長しました。

本校は、幼稚部、小学部、中学部がある他、0～2歳児の乳幼児療育事業も行っています。

年度替わりのこの時期にふと「子育て四訓」のことを思い出しました。

子育て四訓

乳児はしっかり肌を離すな

幼児は肌を離せ、手を離すな

少年は手を離せ、目を離すな

青年は目を離せ、心を離すな



この「子育て四訓」は、山口県の教育者が提言したとも、アメリカンインディアンの間に伝えられているとも諸説がありはっきりしません。でも、意味はよく分かります。

・乳児はしっかり肌を離すな

子供をしっかりと抱きしめる。まずは、子供の心をしっかりと受けとめる。乳児はスキンシップによって「きずなホルモン」「愛情ホルモン」とも言われるオキシトシンの分泌が活発になることが分かっています。肌の触れ合いを通じて安心感・信頼感を育てていきましょう。

・幼児は肌を離せ、手を離すな

幼児期は、完全な保護から社会に向かって一步を踏み出す時期とも言えます。子供の行動範囲は広がっています。心配でつい先回りして手を出してしまいたくなりますが、そこは我慢。しっかりと手を取り、見守り、後押ししたいです。

・少年は手を離せ、目を離すな

小学生くらいの時期、子供は親から少しずつ離れ、外を見ています。しかし、まだまだ多くの人の手助けが必要です。適度な距離を保ちながら目を離さず、たくさんの人の目で見てあげられる環境を子供に用意したいですね。

・青年は目を離せ、心を離すな

中高生になってくると、自分なりの生きがい、進路を歩んでいくときですが、気持ちの上では心を離してはいけないということです。距離を保つという一見「放っておく」ような気がしますが、心は決して離さず寄り添っていることが大事で、そうした支えがあるからこそ子供は安心して外の世界へ羽ばたいていけるのです。

学校は、これからも可能性しかない子供たちを信じて、家庭や地域と共に歩んでいきたいと思います。今年度も御家庭や言泉学園、地域の皆様方をはじめ、多くの皆様に本校の教育に御理解と御協力をいただきました。心より感謝申し上げます。そして私ですが、この度異動となり、室蘭を離れることとなりました。教頭の時から本校でお世話になり、子供たちをはじめ、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様に支えられ、幸せな日々を送ることができました。これまで本当にありがとうございました。

今後とも室蘭聾学校への変わらぬ御理解と御支援をいただき、室ろっ子を見守っていただければ幸いです。

4月の 主な予定

4月8日(月)着任式・始業式・入学式

4月10日(水)歯科検診、岩崎電子来校

4月12日(金)開級式(乳)、新しい友達を迎える会(小)、入学・進級を祝う会(中)

4月15日(月)尿検査(1次)

4月17日(水)避難訓練、さくら補聴器来校

4月23日(火)眼科検診

幼稚部



おわかれ会



3月15日



小学部



卒業生を送る会

3月8日

中学部



送別会

3月15日

転出する 職員

- 二階堂 洋子 校長
(北海道帯広聾学校へ)
- 花岡 駿 教諭
(北海道旭川聾学校へ)
- 高橋 美優 教諭
(北海道札幌聾学校へ)
- 松浦 咲くら 教諭
(任期満了)
- 野中 夏希 教諭
(任期満了)
- 渡辺 麻 教諭
(任期満了)
- 高橋 可奈子 教諭
(任期満了)
- 松本 代志子 教諭
(任期満了)
- 工藤 あずさ
専門寄宿舎指導員
(室蘭養護学校へ)
- 横内 雅世 事務職員
(苫小牧東高等学校へ)
- 武藤 早紀 臨時事務職員
(任期満了)

修了・卒業

おめでとう

いざいざ

【幼稚部】

三名 修了

北海道室蘭聾学校小学部
または公立小学校へ入学

【小学部】

一名 卒業

北海道室蘭聾学校中学部
へ入学

【中学部】

二名 卒業

北海道高等聾学校へ入学

